

GW期間中における海の事故防止について

現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、不要不急の外出を自粛されていると思いますが、やむを得ず海で活動される方は、次のことを心がけましょう。

【プレジャーボート等の小型船舶では…】

自船の安全確保3か条

小型船舶の船長は、以下の3つの事項を実践して、自船の安全を確保しましょう！

- その1. 発航前、機関や燃料等の点検の実施
- その2. 航行時、常時見張りの徹底
- その3. 故障時に備え、救助支援者の確保



発航前…機関や燃料等の点検の実施

発航前は、船体とエンジン周り、燃料の量、バッテリーの状態を点検するとともに、最新の気象・水路情報等入手しましょう！



航行時…常時見張りの徹底

航行時は、他の船舶の動向や浅瀬・定置網など周囲の水域の状況を継続して把握する必要があることから、常時適切な見張りを実施しましょう！



故障時に備え…救助支援者の確保

事故で最も多いのが機関故障！発航する際は、万が一の機関故障の発生に備え、仲間の船やマリナー等の救助艇による救助体制をあらかじめ確保しておきましょう！また、併せて入航時刻等を家族やマリナー等へ連絡しておきましょう！



※ 水上オートバイは民間救助組織の対象外の場合がありますので注意しましょう。

【その他の各種マリネジャーでは…】

自分の命を守る4つのお願い

- ① 飲酒時の活動自粛
- ② 離岸流や一発大波等の危険性の認識
- ③ 救命胴衣の着用推進
- ④ 複数人での活動の実施

① 飲酒時の活動自粛

飲酒時はマリネジャーを控えましょう。飲酒時は正常な判断が出来なかったり運動機能等に大きな影響を与えます。



② 離岸流や一発大波等の危険性の認識

離岸流や一発大波等の危険性を認識しましょう。いざと言うときに備えて対処方法や携帯電話での通報（海のもしもは「118番」）を覚えておきましょう。



③ 救命胴衣の着用推進

海に落ちてしまったとき、パニックになる方が多いです。パニックにならないためにも、救命胴衣を着用をお勧めします。救命胴衣があるとないのでは、生存確率は違います。



④ 複数人での活動の実施

複数人で活動することにより、お互いの異変に気が付きやすくなります。異変に気が付いた時は、緊急通報（海のもしもは「118番」）しましょう。



医療機関は現在、医療崩壊の危機であります。

もしもケガなどした時、最悪の場合、病院の受け入れが遅くなるかもしれません。

十分注意して活動するとともに、各自治体から発信される海岸閉鎖情報等の入手に努めましょう。